

日立造船株式会社



Buckinghamshire 都市ごみ焼却発電プラント
(英国、ごみ処理能力:900t/日、発電出力:27,700kW)

2016年度第2四半期 決算説明会

Hitz
Hitachi Zosen

2016年11月7日

Hitz日立造船株式会社

取締役社長兼CEO 谷所敬

1. 2016年度第2四半期連結決算概況
2. 2016年度業績見通し
3. セグメント別詳細
4. 中期経営計画「Hitz Vision II」の進捗状況

- 売上高が増加したこと

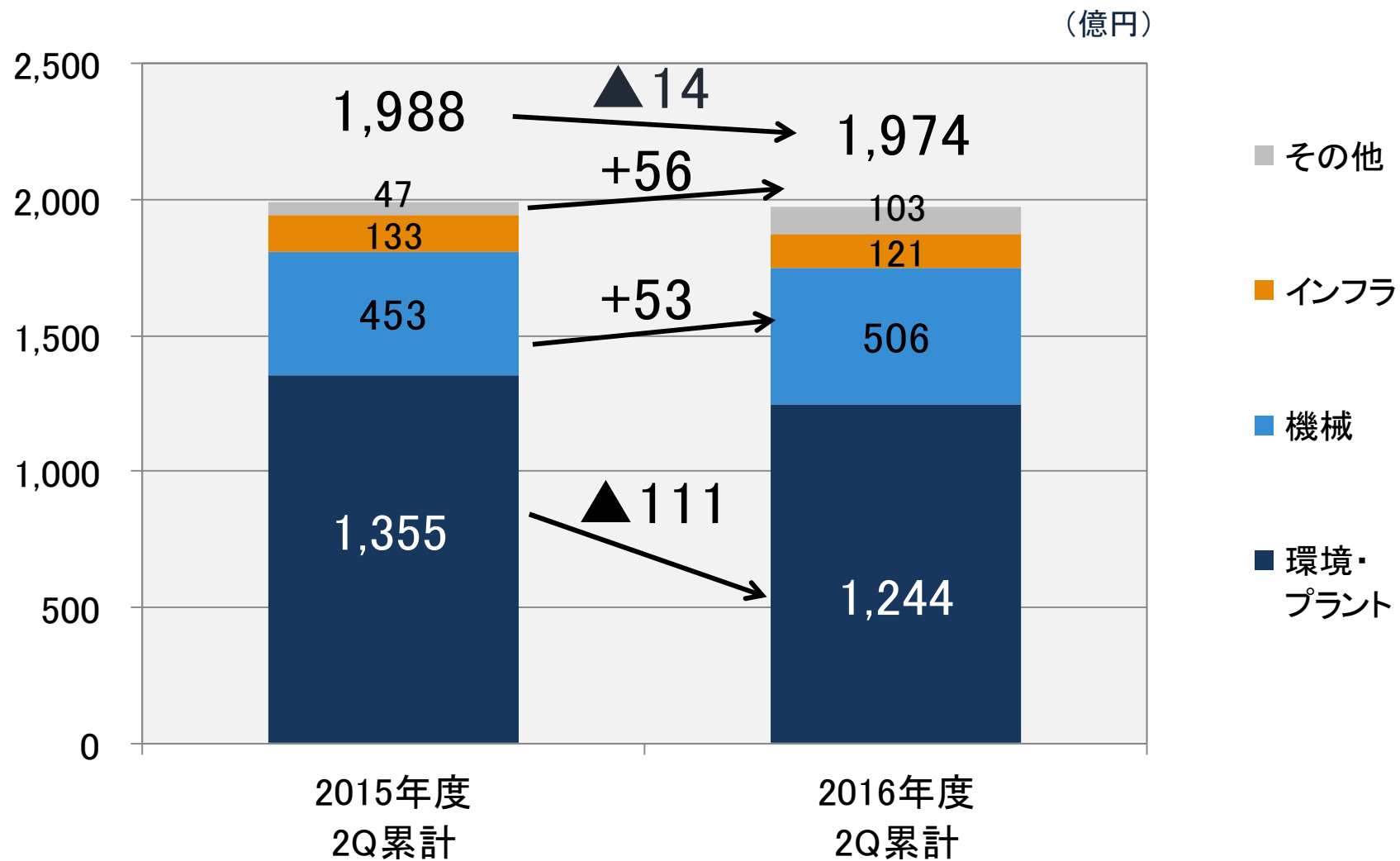
- 各利益項目が改善したこと
特に機械部門の採算が改善したこと

1. 2016年度第2四半期 連結決算の概況

2016年度2Q決算 実績サマリー

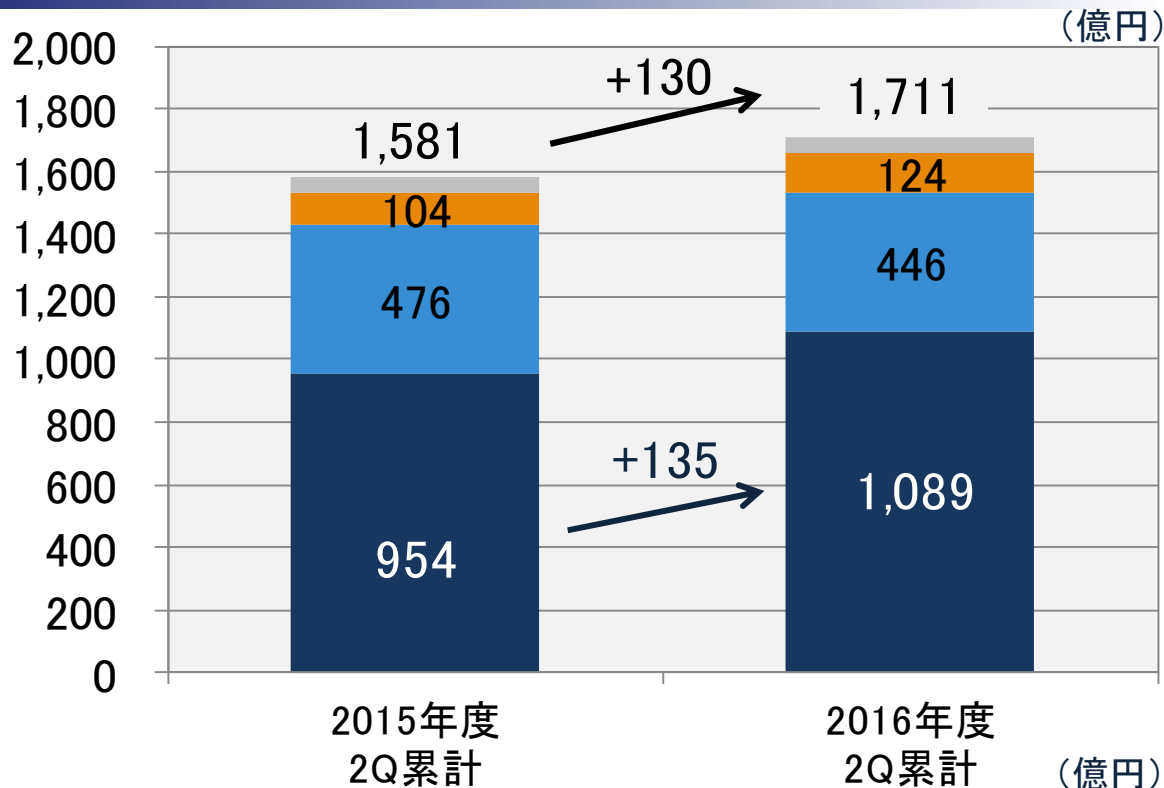
	2015年度 2Q累計 (利益率)		2016年度 2Q累計 (利益率)		比較
受注高		1,988		1,974	▲14
売上高		1,581		1,711	130
営業利益	(▲0.3%)	▲4	(▲0.1%)	▲2	(0.2%) 2
営業外損益		▲8		▲6	2
経常利益	(▲0.8%)	▲12	(▲0.5%)	▲8	(0.3%) 4
特別損益		▲14		2	16
税金費用・ 非支配株主帰属利益		▲13		▲14	▲1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	(▲2.5%)	▲39	(▲1.2%)	▲20	(1.3%) 19

2016年度2Q決算 受注高



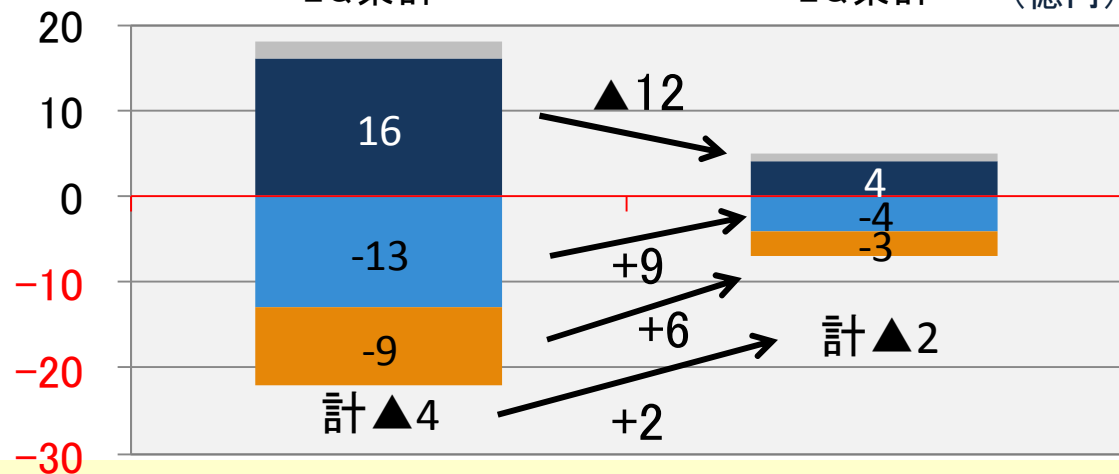
2016年度2Q決算 売上高・営業利益

■ 売上高



- その他
- インフラ
- 機械
- 環境・プラント

■ 営業利益



2016年度2Q決算 セグメント別

	受注高			売上高			営業利益		
	2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	比較	2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	比較	2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	比較
環境・ プラント	1,355	1,244	▲111	954	1,089	135	16	4	▲12
機械	453	506	53	476	446	▲30	▲13	▲4	9
インフラ	133	121	▲12	104	124	20	▲9	▲3	6
その他	47	103	56	47	52	5	2	1	▲1
計	1,988	1,974	▲14	1,581	1,711	130	▲4	▲2	2

2016年度2Q決算 営業損益増減内訳

(億円)

2015年度2Q 営業損益		▲4
増減内訳	・売上高増(+130億円)	19
	・一般管理費の増加	▲7
	・環境・プラント部門の高採算案件の減少	▲20
	・コストダウン等	10
2016年度2Q 営業損益		▲2

2016年度2Q決算 営業外損益・特別損益内訳



Hitachi Zosen

(億円)

		2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	比較
金	利 負 担 額 [※]	▲2	▲2	0
持分法による投資損益		▲3	0	3
その他営業外損益		▲3	▲4	▲1
営業外損益計		▲8	▲6	2
特別利益	固定資産売却益	—	14	14
特別損失	海外事業関連損失	—	▲12	▲12
	債務保証損失引当金繰入額	▲14	—	14
特別損益合計		▲14	2	16

(※) 受取利息・受取配当金から支払利息を引いたネットの金利負担額

2016年度2Q決算 キャッシュフロー・有利子負債

(億円)

項 目		2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	比較
キャッシュフロー	営業活動によるキャッシュフロー	257	179	▲78
	投資活動によるキャッシュフロー	▲40	14	54
	財務活動によるキャッシュフロー	▲192	▲134	58
	現金・現金同等物の増減額	(注1) 25	(注1) 50	25
	現金・現金同等物の期首残高	607	496	▲111
	現金・現金同等物の期末残高	632	546	▲86

(注1)為替換算差額含む(2016年度2Q: ▲9)

(億円)

項 目		2016年 3月末	2016年 9月末	比較
有利子負債	借 入 金	(注2) 951	(注2) 838	▲113
	社 債	100	100	0
	合 計	1,051	938	▲113

(注2)リース債務を含む。

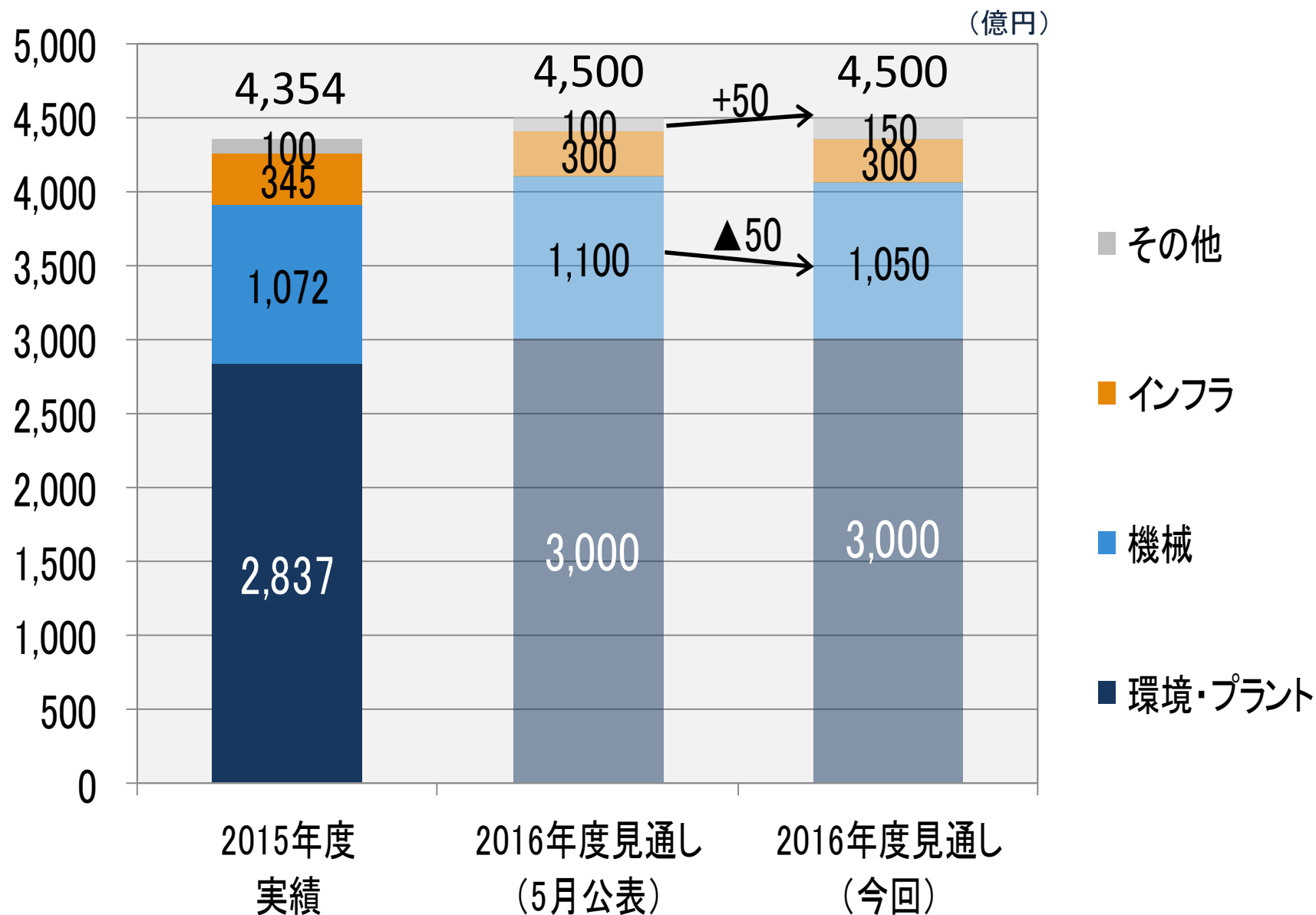
2. 2016年度業績見通し

2016年度見通し サマリー

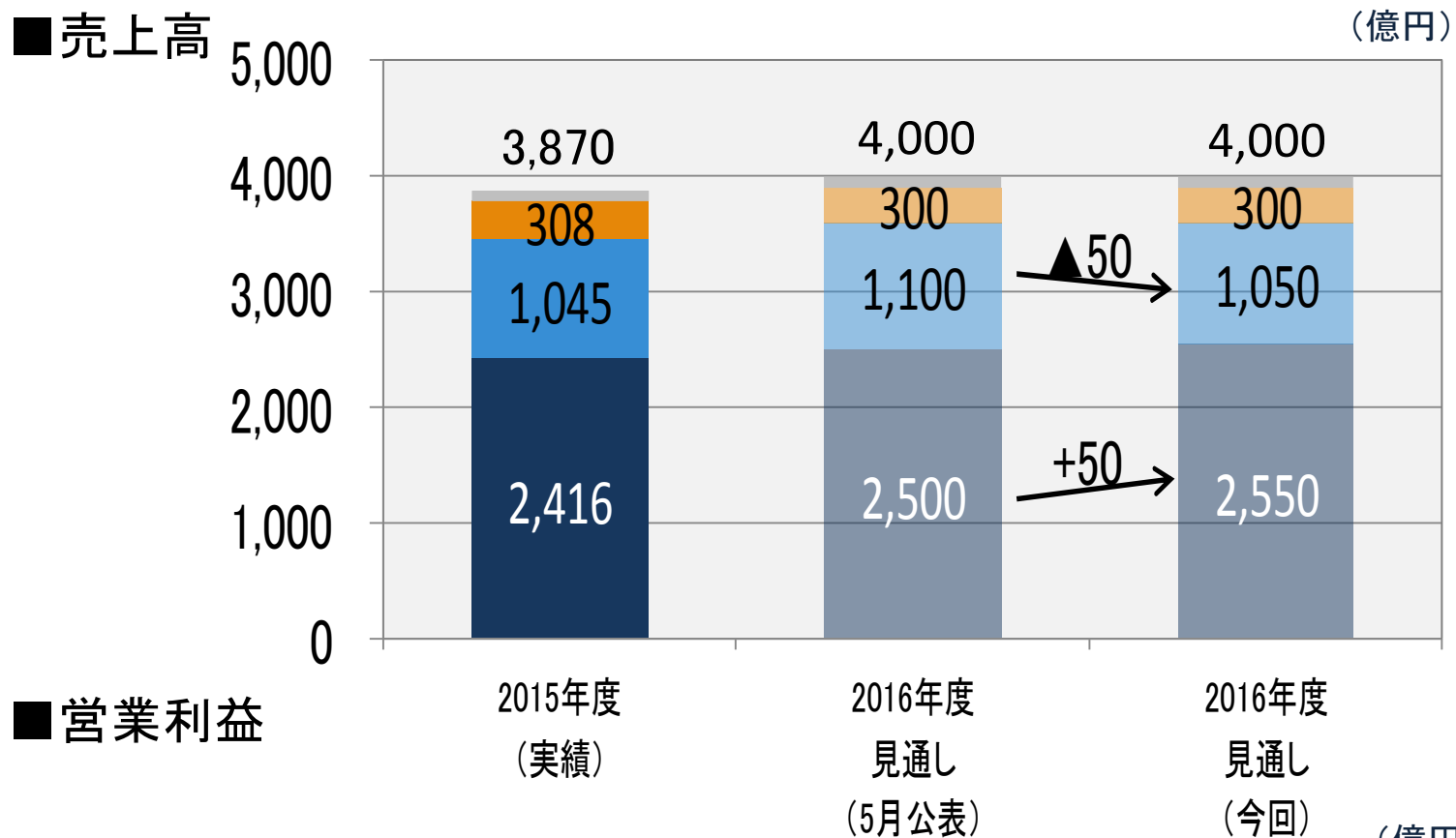
(億円)

	2015年度		2016年度見通し				比較			
	実績		5月公表		今回		対 前年度		対 5月公表	
	(利益率)		(利益率)		(利益率)		(利益率)		(利益率)	
受注高	4,354		4,500		4,500		146		0	
売上高	3,870		4,000		4,000		130		0	
営業利益	(3.9%)	151	(4.0%)	160	(4.0%)	160	(0.1%)	9	(0.0%)	0
経常利益	(3.2%)	122	(3.0%)	120	(3.0%)	120	(▲0.2%)	▲2	(0.0%)	0
親会社株主に 帰属する当期 純利益	(1.5%)	58	(1.5%)	60	(1.5%)	60	(0.0%)	2	(0.0%)	0

2016年度見通し 受注高



2016年度見通し 売上高・営業利益

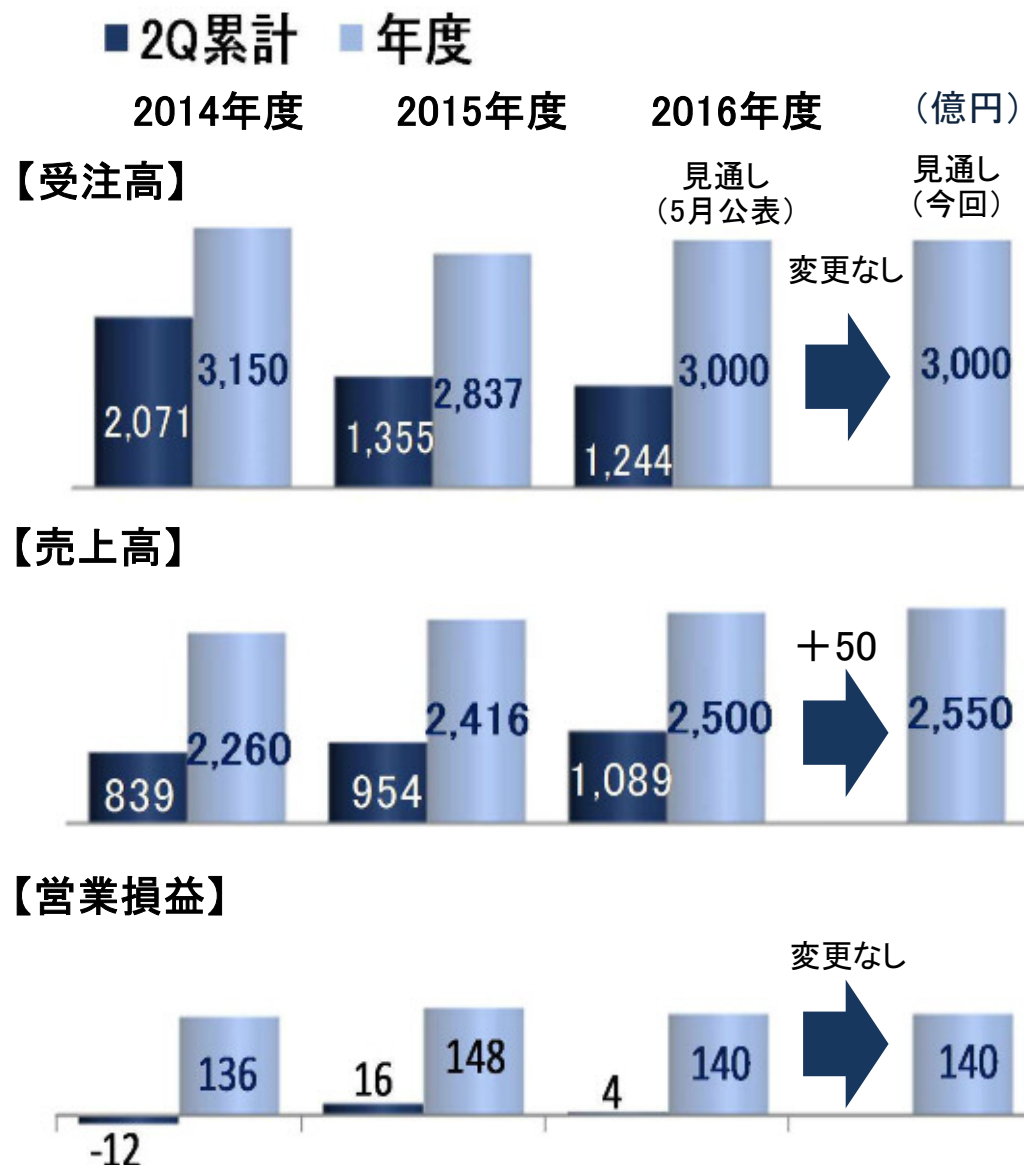


2016年度見通し セグメント別

	受注高			売上高			営業利益		
	2015年度 実績	2016年度 見通し (5月公表)	2016年度 見通し (今回)	2015年度 実績	2016年度 見通し (5月公表)	2016年度 見通し (今回)	2015年度 実績	2016年度 見通し (5月公表)	2016年度 見通し (今回)
環境・ プラント	2,837	3,000	3,000	2,416	2,500	2,550	148	140	140
機械	1,072	1,100	1,050	1,045	1,100	1,050	▲8	10	10
インフラ	345	300	300	308	300	300	4	7	7
その他	100	100	150	101	100	100	7	3	3
計	4,354	4,500	4,500	3,870	4,000	4,000	151	160	160

3. セグメント別詳細

環境・プラント部門



【受注高】

■ 2Q実績(前年2Q比)

1,244億円(▲111億円)

- ・Inovaが英国案件を2件受注
- ・国内ごみ焼却EPC・長期運営減少

■ 年間見通し(5月公表比)

3,000億円(変更なし)

- ・Inovaが英国案件受注を見込む
- ・国内ごみ焼却EPC・長期運営の受注を見込む

【売上高】

■ 2Q実績(前年2Q比)

1,089億円(+135億円)

- ・カタル向け海水淡水化プラント建設工事が大きく寄与

■ 年間見通し(5月公表比)

2,550億円(+50億円)

- ・カタル向け海水淡水化プラント建設工事が大きく寄与

【営業損益】

■ 2Q実績(前年2Q比)

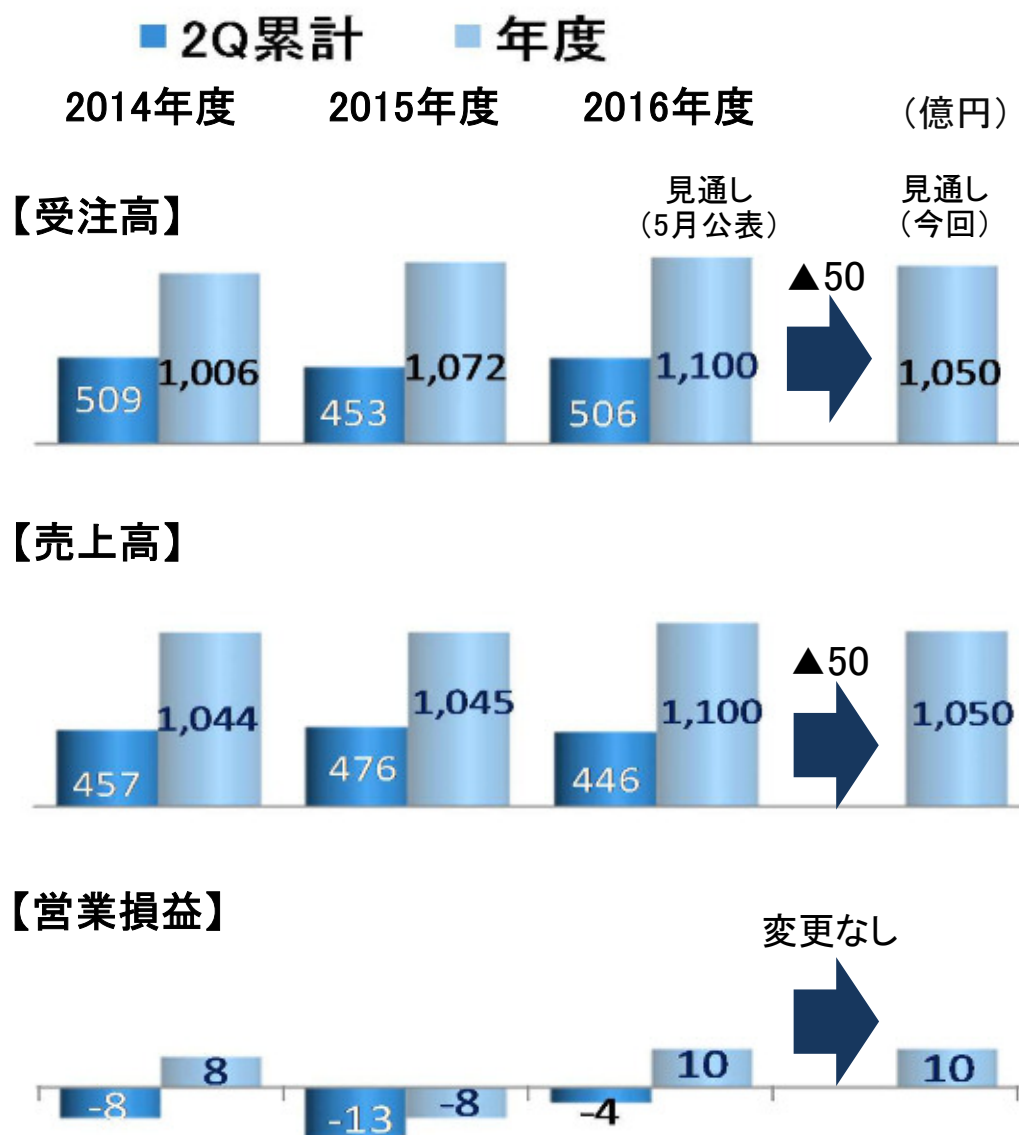
4億円(▲12億円)

- ・前年同期は高採算案件の完工による増益

■ 年間見通し(5月公表比)

140億円(変更なし)

機械部門



【受注高】

■ 2Q実績(前年2Q比)

506億円(+53億円)

- ・船用原動機・精密機械の増加
- ・プロセス機器の減少

■ 年間見通し(5月公表比)

1,050億円(▲50億円)

- ・原油安・円高によるプロセス機器の受注遅れによる減少

【売上高】

■ 2Q実績(前年2Q比)

446億円(▲30億円)

- ・船用原動機の減少
- ・太陽光発電設備の減少

■ 年間見通し(5月公表比)

1,050億円(▲50億円)

- ・プロセス機器の受注不振による減少

【営業損益】

■ 2Q実績(前年2Q比)

▲4億円(+9億円)

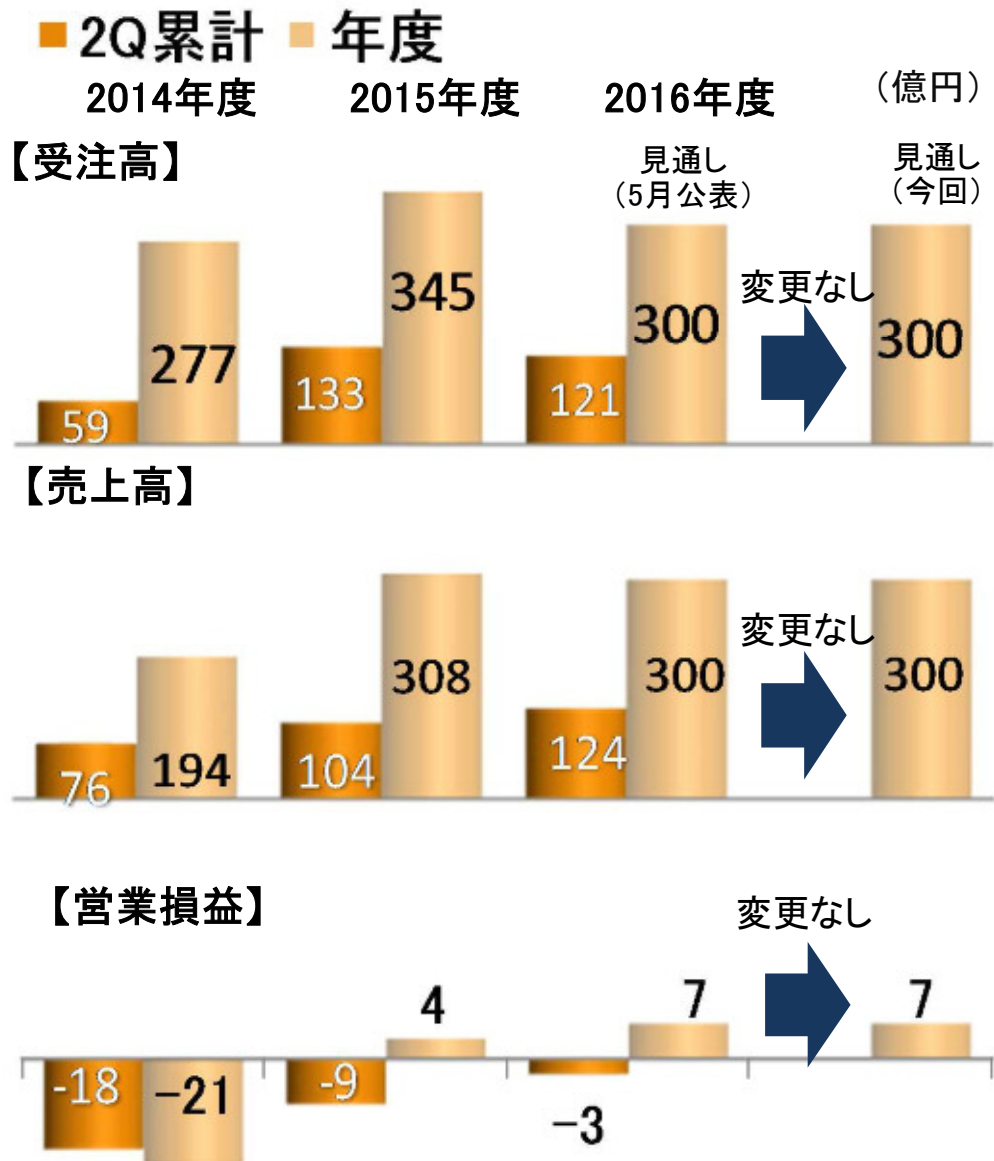
- ・船用原動機の構造改革進捗
- ・精密機械の新製品のトラブル解消

■ 年間見通し(5月公表比)

営業損益:10億円(変更なし)

- ・プロセス機器で減益
- ・固定費削減も含めたコストダウンでカバー

インフラ部門



【受注高】

■ 2Q実績(前年2Q比)

121億円(▲12億円)

- ・前年同期はシールド掘進機受注で増加

■ 年間見通し(5月公表比)

300億円(変更なし)

- ・橋梁・シールド掘進機で大口案件を見込む

【売上高】

■ 2Q実績(前年2Q比)

124億円(+20億円)

- ・海洋の大口工事が順調に進捗

■ 年間見通し(5月公表比)

300億円(変更なし)

【営業損益】

■ 2Q実績(前年2Q比)

▲3億円(+6億円)

- ・海洋の大口工事が順調に進捗
- ・個別工事の採算改善

■ 年間見通し(5月公表比)

7億円(変更なし)

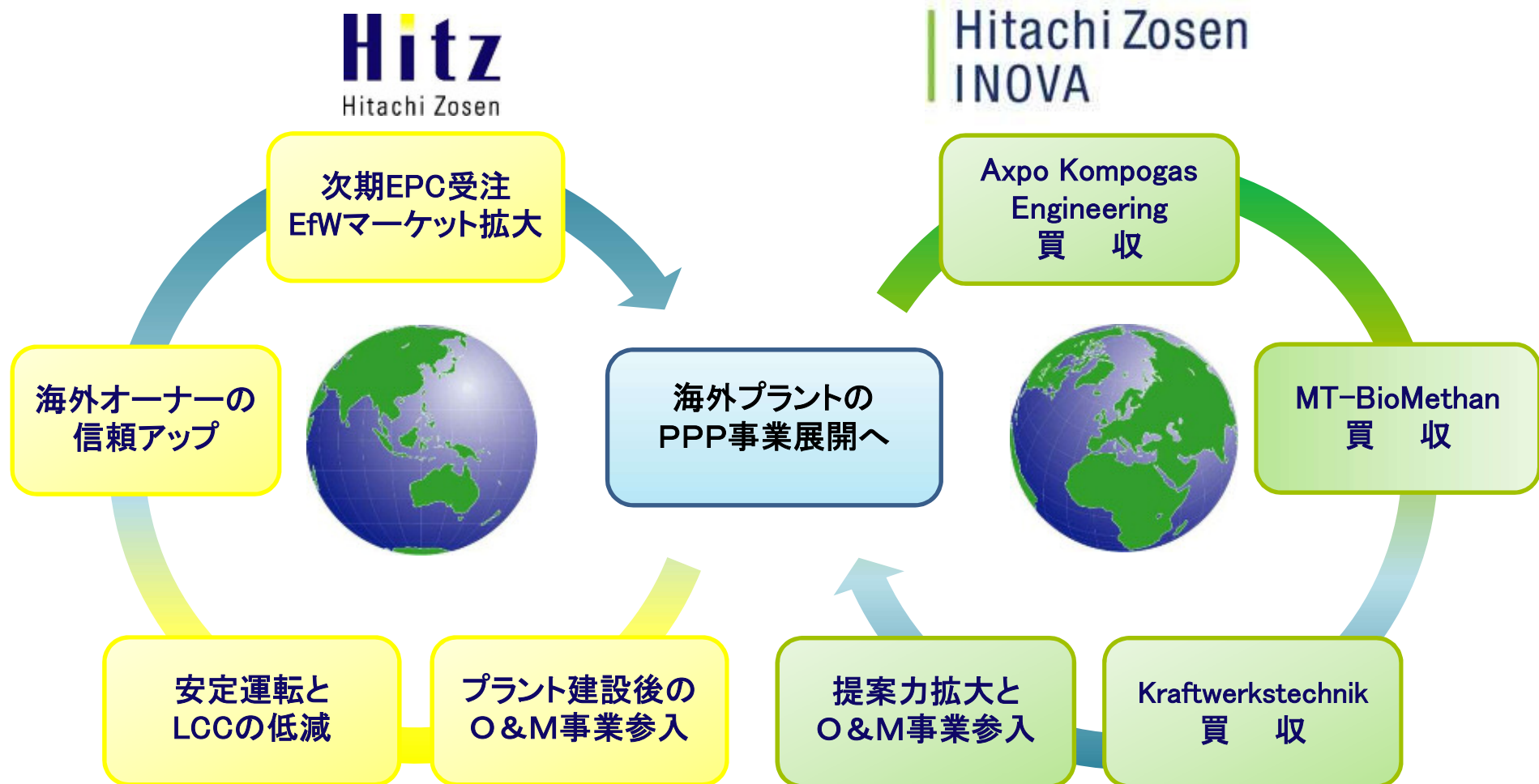
- ・売上増加による収益の改善を見込む

4. 中期経営計画「Hitz Vision II」 の進捗状況

中期経営計画「Hitz Vision II」重点施策

事業の イノベーション	◆ 技術立社と伸長分野	・伸長分野で技術立社の考え方に基づく事業戦略の実行	
	◆ 収益力の強化	・不振事業の事業転換を促す仕組みの構築 ・バランス経営の推進 ・ICT、ロボットの利用拡大	
	◆ 事業成長力の強化	海外現地事業の推進	・地域別統括機能の強化、地域別施策の推進 ・海外拠点の整備継続、ガバナンスの強化
		開発プロセス 変革による 新製品・新事業の 収益化 スピードアップ	・重点テーマをプロジェクト体制により早期製品化・事業化 ・事業性評価の強化 ・グローバルに戦える強い研究体制の構築
		グループ力の 強化による シナジーの実現	・Inova社、NAC社、Cumberland社とのシナジー拡大 ・更なるグループ全体の再編・統合による 事業展開力と収益力の強化、人材活用
		M&Aの推進	・既存事業と技術のシナジー追及 ・海外現地事業のスピードアップ
経営管理の イノベーション	◆ フラット・マトリックス経営体制推進	・ICT利用、グループカ、品質保証および環境・安全の強化	
	◆ 財務体質の強化	・成長戦略のための資金確保と財務体質の改善 ・外部格付け・株価向上のためのIR強化 ・グローバルベースの資金管理、効率的な資金運用	
	◆ 人材育成と風土改革	・若手人材の育成、技術・技能の伝承 ・多様な人材の採用と活用	

EfW事業の拡大



■ 当期の主な受注実績

国内 <基幹改良>

・尾道市

基幹改良工事

120t/日 (60t/16h × 2炉) → 150t/日 (75t/24h × 2炉)

・春日部市

基幹改良工事 (399t/日 : 133t/日 × 3炉)

発電出力 : 1,900kW → 3,100kW

海外 <新設>

・イギリス
(Inova)

Ferrybridge 2 都市ごみ焼却発電プラント建設工事

2,030t/日 (1,015t/日 × 2炉)

発電出力 : 68,800kW

・イギリス
(Inova)

Edinburgh 都市ごみ焼却発電プラント建設工事

464t/日 (464t/日 × 1炉)

発電出力 14,200kW

<主要機器調達および関連サービス>

・中国

順徳区 都市ごみ焼却発電プラント

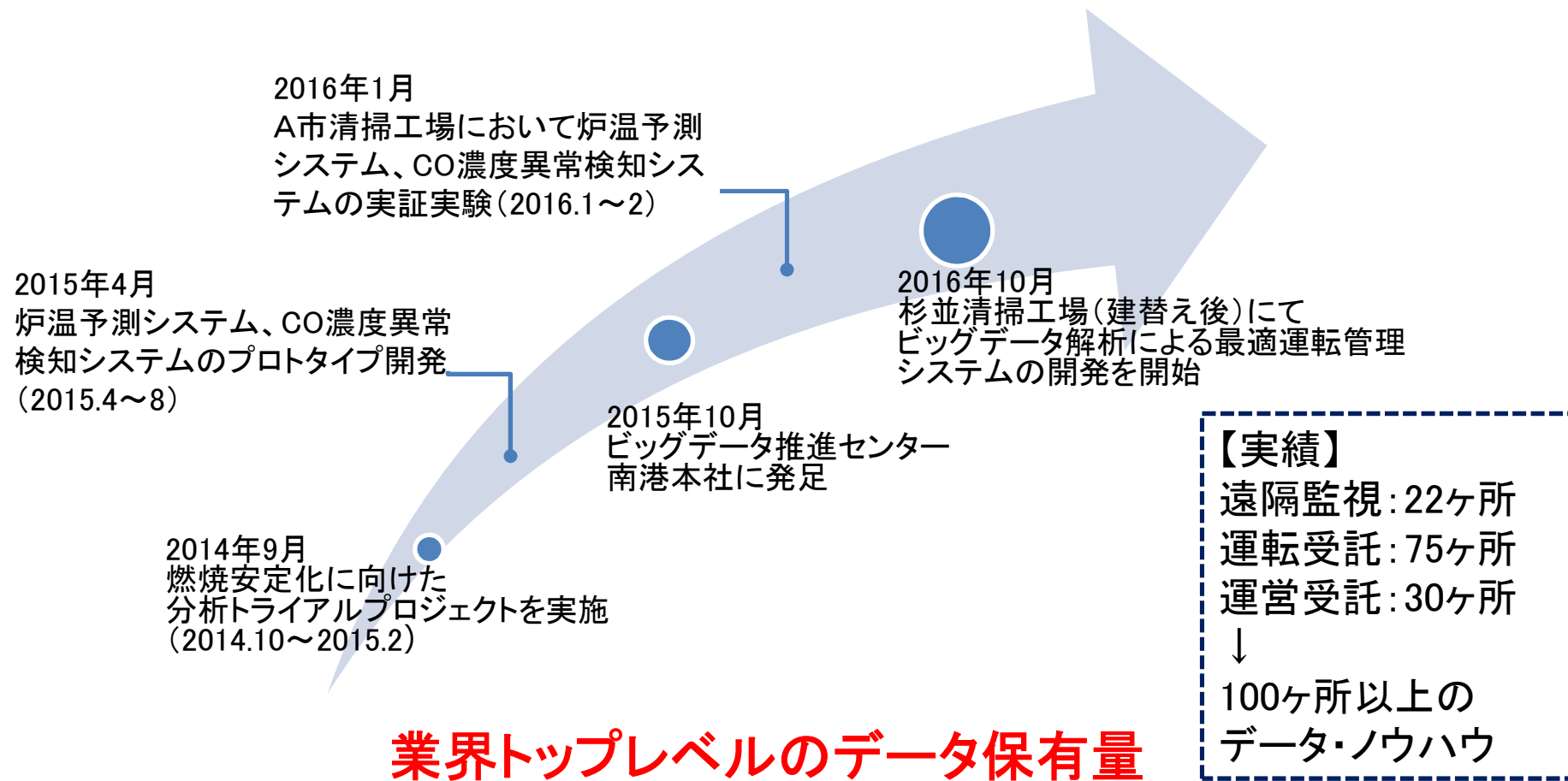
3,000t/日 (750t/日 × 4炉)

発電出力 : 70,000kW

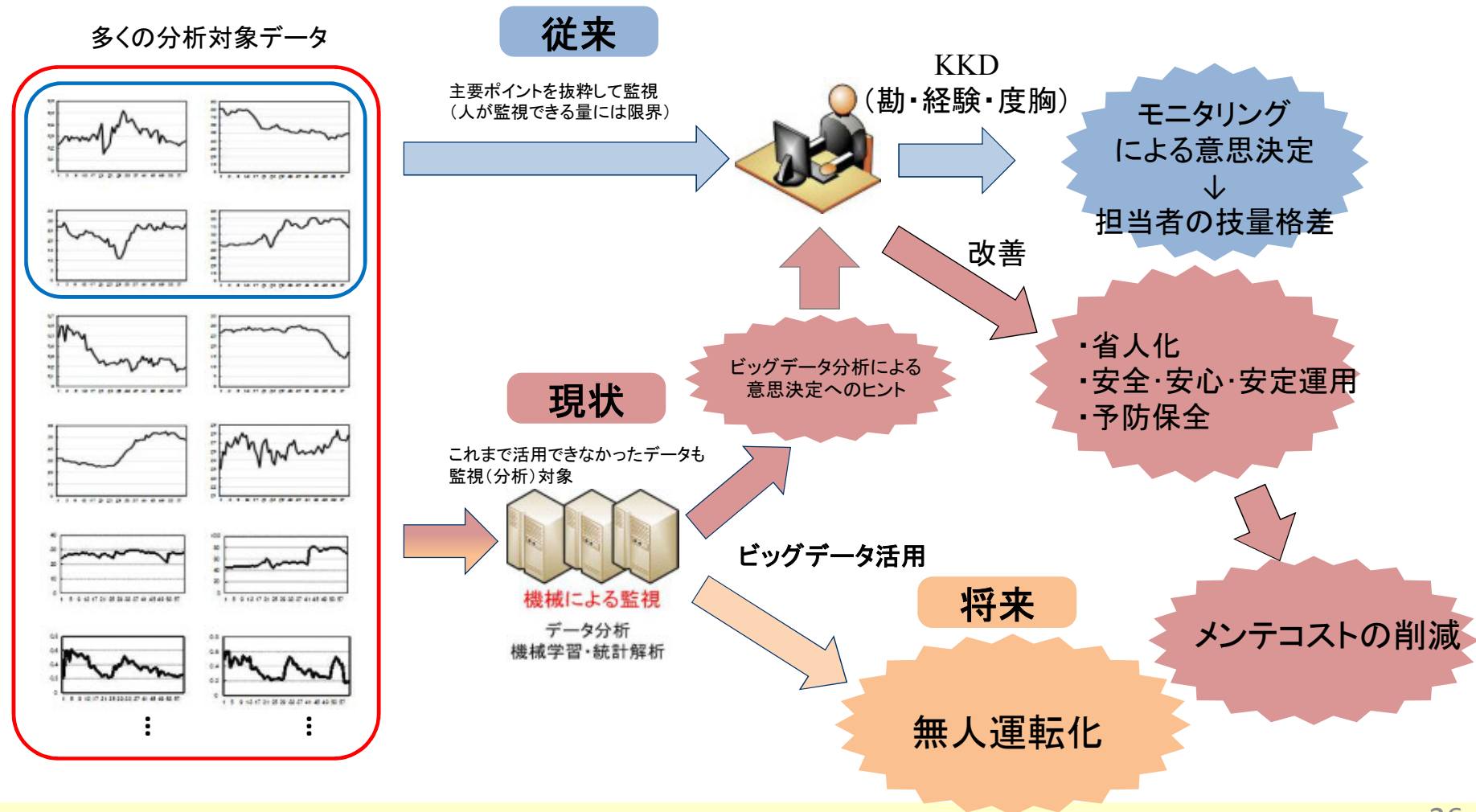


Edinburgh 完成予想図

■ 安定運転とライフサイクルコスト低減への取り組み ～2001年からデータの収集・蓄積を開始～



■ 安定運転とライフサイクルコスト低減への取り組み ～運転技術の高度化開発～



EfW事業の拡大

■ 継続的事業の海外強化 ～グローバルにO&M事業を推進～

ベトナム初のEfWプラント

- ・NEDO事業でハノイ市に建設中のEfWが9月以降試運転を開始
- ・完工後は現地の都市ごみ処理公社URENCOとSPCを設立
長期のオペレーション事業を行うことを両社で合意
→ ベトナム1号機の運転管理を当社が担当

効率的な安定運転でEfWプラントの普及を目指す



事業成長力の強化：新製品の開発状況



■ 「エネルギー・環境イノベーション戦略 (NESTI2050)」への対応

NESTI 2050		既存製品	新製品 (開発中)
■ 省エネ	革新的生産プロセス 超軽量・耐熱構造材料	<ul style="list-style-type: none"> ・分離膜 ・触媒 (脱硝) 	<ul style="list-style-type: none"> ・触媒 (メタン化) ・マイクログリッド
■ 蓄エネ	次世代蓄電池 水素等製造・貯蔵・利用	<ul style="list-style-type: none"> ・水電解 (水素製造) 	<ul style="list-style-type: none"> ・メネーション ・全固体Li電池
■ 創エネ	次世代太陽光発電 次世代地熱発電	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上風力発電 ・一般廃棄物発電 (EfW) ・メタン発酵ガス発電 ・木質バイオマス発電 	<ul style="list-style-type: none"> ・洋上風力発電 ・一般廃棄物ガス化発電 ・太陽熱発電 ・産業用燃料電池 (SOFC) ・次世代太陽電池：量子ドット

事業成長力の強化:新製品の開発状況

■ 余剰電力の活用、CCR (Carbon Capture and Reuse)

- ・電解装置
- ・CO₂分離膜
- ・メタネーション触媒

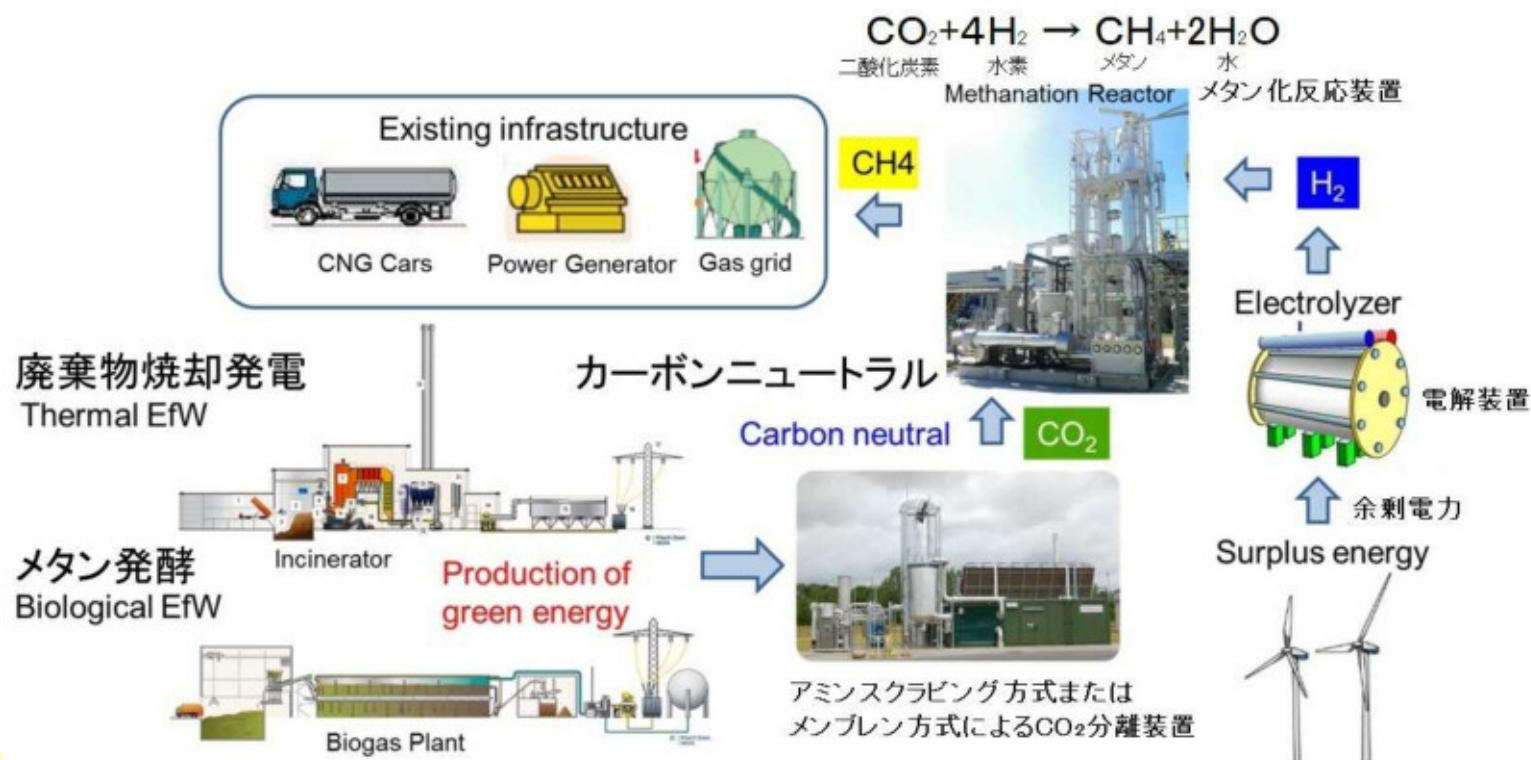
Hitz

連携



HZI

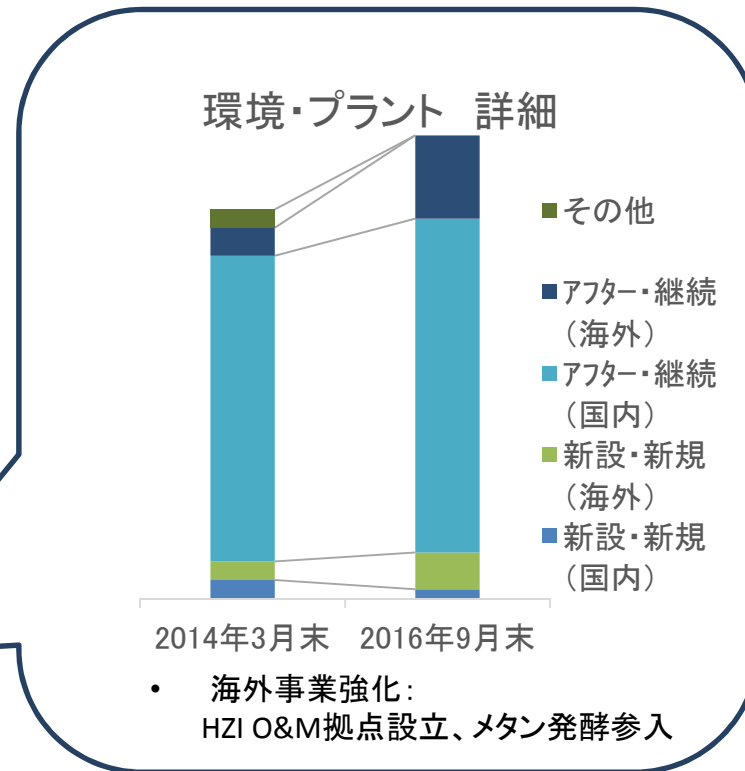
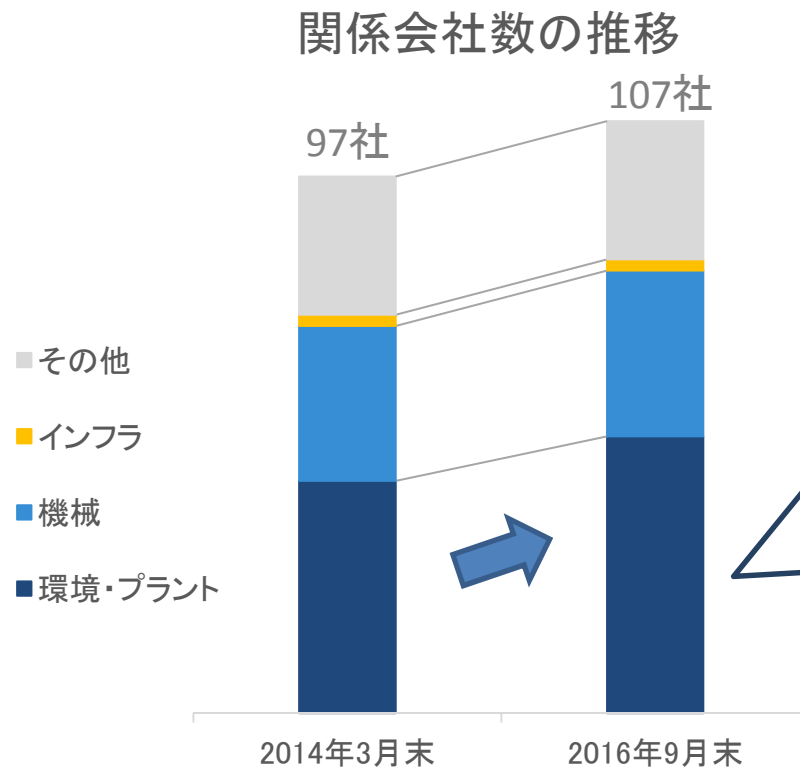
- ・バイオガス精製(HZI BioMethan) …2015年3月
 - ・PtG(HZI Etogas) …2016年10月
- PtG: Power to Gas



グループ力の強化(事業の選択と集中)

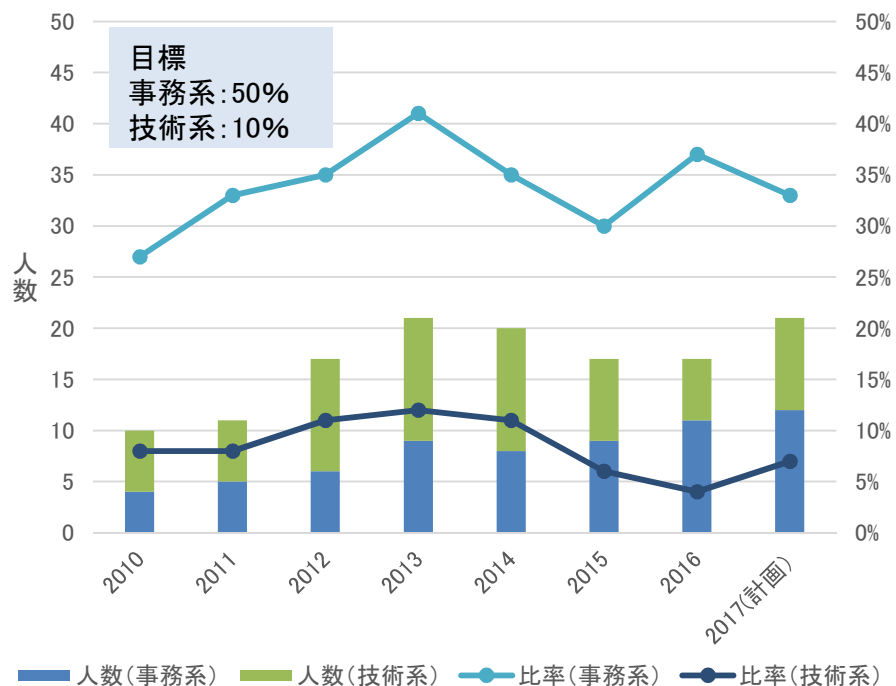
■ 不採算事業からの撤退と伸長分野への集中投資 ～継続的事業・海外事業を強化～

- 不採算事業からの撤退: Δ 4社、経営権強化のための再編: Δ 3社
- 環境・プラントで長期運営SPC(国内)増加: 7社
- 海外事業強化: 10社

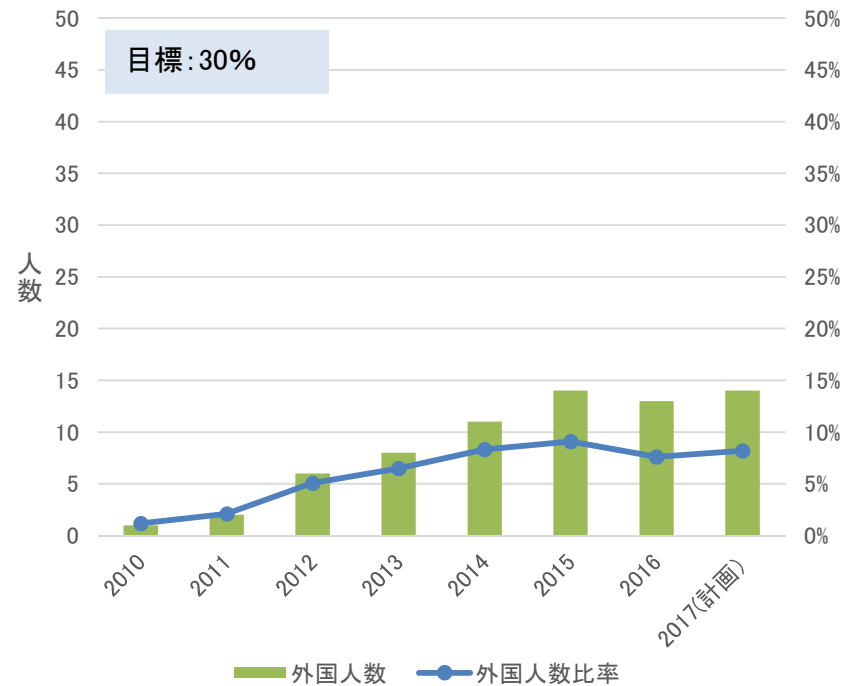


■ 多様性の確保による持続的な企業価値の向上

新卒採用における女性数の推移



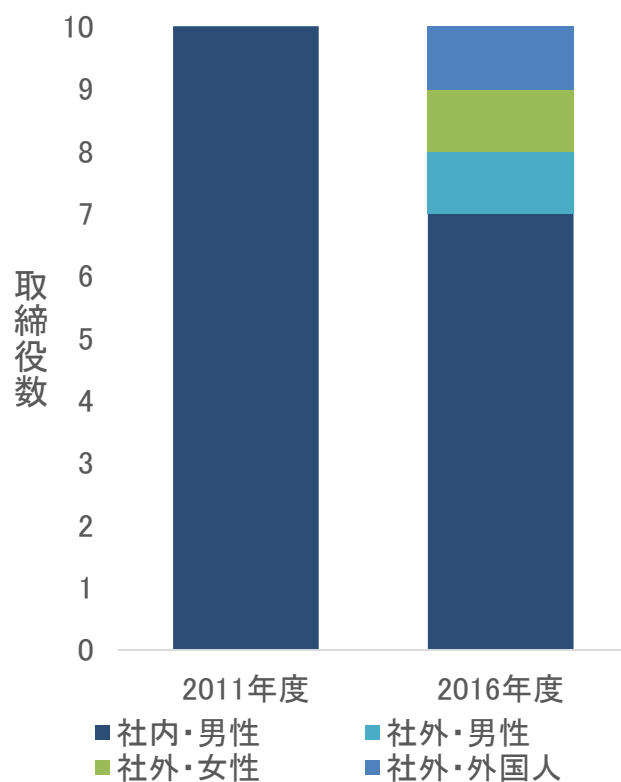
新卒採用における外国出身者数の推移



→徐々にではあるが、成果は出始めている

■ 取締役会の活性化によるコーポレートガバナンスの強化

取締役会構成員の推移



- 取締役会の実効性評価を行い、全73原則 Comply
- 構成員の見直し:社外取締役3名(女性、外国人含む)の選任
- 取締役会付議基準の見直し:審議の活性化と監督機能強化



伊東 千秋
社外取締役



高松 和子
社外取締役



リチャード R. ルーリー
社外取締役

Hitz Vision II 計数計画

(億円)

	Hitz-V II 計画			実績(見通し)			2014-2016年度 累計		
	2014年度	2015年度	2016年度	2014年度	2015年度	2016年度	Hitz-V II 計画	実績(見通し)	達成度
受注高	4,000	4,500	5,000	4,527	4,354	4,500	13,500	13,381	99.1%
売上高	3,200	3,500	4,000	3,593	3,870	4,000	10,700	11,463	107.1%
営業利益 (営業利益率)	100 (3.1%)	170 (4.9%)	230 (5.8%)	128 (3.6%)	151 (3.9%)	160 (4.0%)	500 (4.7%)	439 (3.3%)	87.8%
経常利益 (経常利益率)	80 (2.5%)	140 (4.0%)	200 (5.0%)	75 (2.1%)	122 (3.2%)	120 (3.0%)	420 (3.9%)	317 (3.0%)	75.5%
当期純利益	40	80	130	51	58	60	250	169	67.6%
有利子負債 残高	1,311	1,260	1,200	1,190	1,051	1,100	1,200	1,100	109.1%
自己資本 比率	27.6%	28.6%	30.6%	26.6%	28.4%	29.0%	30.6%	29.0%	94.8%



Hitz

Hitachi Zosen

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。